

平成二十八年 第二百四十二回千代尼忌 俳句会

主催 聖興寺千代尼史蹟保存会
協賛 白山市俳句協会

選 評 結 果

六十六名参加
一人二句吟

特選句

大寺 喜久子 選

秋豪雨清めてゆきし千代尼寺

泉 和子

奥村 誠一路 選

寺ぬちに風の道あり赤とんぼ

宮下 美智子

河越 敏子 選

雨止んで赤とんぼうの空もどり

泉 和子

野上 智恵子 選

垣ぬちに九九の大声赤とんぼ

奥村 誠一路

松本 美簾 選

千代尼忌の朝空駆くる稲光

大橋 美代子

亀田 蒼石 選

赤とんぼ五軒となりし父の里

木下 英子

瀬東 千恵子 選

名刹やことに清しき松手入

藤井 喜美子

高 点 句

名刹やことに清しき松手入

藤井 喜美子

寺ぬちに風の道あり赤とんぼ

宮下 美智子

垣ぬちに九九の大声赤とんぼ

奥村 誠一路

温顔の千代尼の像や吾亦紅

高松 くに子

秋豪雨清めてゆきし千代尼寺

泉 和子

赤とんぼ五軒となりし父の里

木下 英子

千代尼忌の朝空駆くる稲光

大橋 美代子

秋あかね吟詠漏るる大庇

鍛冶 武能

結 果

一位 藤井 喜美子

〃 宮下 美智子

〃 奥村 誠一路

四位 高松 くに子

五位 泉 和子

〃 木下 英子

〃 大橋 美代子

八位 鍛冶 武能

〃 木村 幸子

〇 雷鳴と土砂降りにもかかわらず、

多数の参加を頂き有り難うございました。

今回から新たに野上智恵子先生に選者をお引き受けいただき、

風の会の会の方々も大勢ご参加され賑やかに千代尼忌を迎えることができました。

選考の間に、今年は、石川吟詠会の皆様に、「千代女 雪・月・花」という題で千代女の句十五句を吟詠していただき、後半は「加賀能登山河抄」と題して、

渋川流剣詩舞道の方々の詩舞も加わり、映像と朗読を交えた解説が有り、趣向を凝らした演技に一時間の時はあつという間に過ぎてゆきました。伴奏は尺八

西山閑山箏 林 雅楽菜さんでした。選句について 一人二句投句する。選者七名に、一人十一句の選(内特選句を一句)をいただき、特選句には二点を与え順位を決める。

手 向 句

鳥花石露の苑となりたる千代尼塚 石田 悦子
朝顔や二百四十二回千代尼の忌 大寺 喜久子
爽涼や短冊揺るる千代尼塚 奥村 誠一路
千代尼塚寂びて白菽咲きこぼる 門田 いく江
千代尼忌や人擦れづや堂柱 亀田 蒼石
家々に朝顔咲けり千代の町 河越 敏子
裏山のひぐらし鳴けり御仏供杉 川崎 房恵
菽白し風の匂ひの千代尼堂 五嶋 吉人
千代尼忌や梅檀の実を肥やす雨 瀬東 千恵子
紅白の菽に和むも千代女の忌 松本 美簾
松任に産まれ生かされ千代尼の忌 山本 時子